

## 緑化推進有識者会議 意見概要

### (管理指標について)

- ・短期目標値は2021年に達成すればよいのか。
- ・おもてなし空間整備は今年度5箇所となっているが、残り3年にプラス2箇所の目標達成でいいのか。  
→今の所はそうだが、実績に合わせて増やすことも検討している。
- ・現状値と目標値の差が大きいところが力を入れているという解釈でよいか。
- ・現状値と目標値の差がないものは、現状維持でよいということか。  
→管理指標の中では維持目標のものもあるが、おもてなし空間整備や芝生に関するもの、人材育成などに力を入れている。
- ・管理指標の「芝生が適切に維持管理された園庭・校庭」はもっとあるのでは。  
→現状は、県で確認できた箇所として、芝草研究所の実施箇所のみカウントしている。  
確認方法を決め、確認できたものはカウントしていく。

### (おもてなし空間の整備について)

- ・おもてなし空間の整備について、予算や補助率などのお金がらみの話ではなく、緑化推進計画を策定した県の思いをもっと市町に伝え、県全体として取り組む必要性について理解を求めるときではないか。
- ・予算は、計画で掲げる「おもてなし空間の整備」の全体像を考えるならもっとかかる。  
→今年度は、県東部のオリパラに関連した市町が実施しており、これをモデルとして全県に広げていく。短期目標はモデル整備の部分にあたる。
- ・今の話からすると、(おもてなし空間の)7箇所はもう決まっているのか。  
→腹案はあるが、もっと広く進めていきたい。
- ・(おもてなし空間の)「モデル」と言っているが、その想定をはっきりさせないとこの疑問はいつでも同じ疑問が残る。  
→今年度は事業実施初年度で、整備箇所がなく完成イメージを共有できないところがある。今後整備箇所ができてくるので、今年度中にははっきりできると思う。

### (計画のコンセプトと広報について)

- ・何のための庭園県なのか、理念の部分をきっちりと深掘りして、県民に伝えてほしい。

### (緑化コーディネーターの養成について)

- ・計画のコーディネーター育成の部分に、専門知識という記載がある。コーディネーター養成ということであれば、コーディネーターの基本的な部分のスキルを上げる講義を行うべき。
- ・指導する人は専門家でないと無理。この講義の修了だけでコーディネーターをするのは無理だと思う。  
→コーディネーター養成講座の修了だけでコーディネーターを務まらないのは理解している。活躍の場を用意するため、現在グリーンバンクと人材バンクに登録する人材の要件を詰めているところ。